



シンエイ工営株式会社

愛知県犬山市長者町5丁目2番地

TEL 0568-68-1760 FAX 0568-68-1239

e-mail : sk@shinei-fp.co.jp

代表取締役 余田 一夫

シンエイ工営

検索

このところ一気に寒くなってようやく本格的な冬の到来を感じさせる気候になってきましたが、皆様、風邪やインフルエンザをはじめ季節の変わり目には体調に十分気を付けましょう！！さて、シンエイ工営では、江南市古知野で11月26日（土）、27日（日）に完成見学会を開催します。また完成見学会前に20日（日）から予約制で内覧会を行います。皆様、ぜひご参加ください！！詳しくはシンエイ工営まで！！

人と地球上 やさしい床材

（第1回）

先月、先々月は「フローリング床材」についてご紹介しましたが、今月号からは「タイル床材」についてご紹介したいと思います。

おススメのタイル床材

◇コルクスタイル・・・コルクはコルク樺という樹からはがした樹皮で出来ています。この樹皮は9年サイクルではがされ、1本の樹から厚さ1～7cmの皮が約15～18回取れます。樹を切らないので、エコロジーの上からも再興の資源利用です。コルクは昔からワインの栓、履物、釣り竿のグリップ、ピン王冠の裏側等に利用されたばかりでなく、その物理的特性を生かし、断熱材、振動吸振板、救命具等の重要な位置を占めました。そして、技術の開発とともに床材としても利用できるようになりました。

あらゆる面で、多彩な性能を発揮

コルクは高価な材料ですが、何とも言えない不思議な魅力があります。肌触りが良く弾力があって暖かく、断熱性や防湿性、防音、防震性に優れ化学薬品にも強く炭化コルクが示すように防災の性能もあります。
<肌触り・弾力性>滑りにくく転んだ時にもその衝撃を和らげ、物を落としても割れにくいのも特徴です。
<断熱性・防湿性>コルクの熱伝導率は毛布とほぼ同じです。冬場のヒヤッとした感触がありません。夏は涼しく肌触りが良く、冬は暖かいので温度変化による刺激を受けないのが特徴です。また、優れた吸湿性により結露を抑えて気温を保ち、エアコンの省エネ運転に貢献します。
<遮音性・吸音性・防震性>4200万個/cm³という気泡が生活音や衝撃音を吸収します。ホールや図書館など特に静けさが必要な空間に使用されています。
<耐水性・耐久性・防炎性>水、熱湯、化学薬品に強く、火災時には炭化・膨張して延焼を防ぎます。

シ んちやん
の
あ料理

かぼちゃがたっぷり！体も暖まる！！

かぼちゃスープ

【材料】

かぼちゃ 半分／玉ねぎ 1個／バター 10g
水 200cc／固体コンソメ 1個／塩 適量
牛乳 200cc



- (1) かぼちゃの種を取り、小さく切る。たまねぎは薄切りかみじん切りにする。
- (2) 玉ねぎをバターで透明になるまで炒め、水、固体コンソメとかぼちゃを入れる。
- (3) かぼちゃが柔らかくなったら、冷ましてミキサーにかける。
- (4) (3) を鍋に戻し火にかけ、牛乳と塩を加えてよく混ぜる。
- (5) 湯の場合は温め、冷の場合は冷まして冷蔵庫へ。

ちょっと役立つ

the 雑学王

今月のテーマ ~The theme of this month~

肉や貝類にご用心！冬季の食中毒に気をつけよう！

食中毒というと、梅雨時や夏によく起こるものと思う方も多いかもしれません。実は冬の時期にも注意が必要です。11月に入ると大腸菌よりもっと小さいウイルスによる食中毒が増えます。寒い季節に流行しやすいのがノロウイルスによる食中毒です。平成22年の厚生労働省の食中毒発生状況によるとノロウイルスによる患者数は1万3904人。

食中毒を発生させる原因物質の中で最も患者数が多くなっています。ノロウイルスは、カキなどの二枚貝の生食が感染源として知られていますが、人から人へ手指などを介して広がっていくことが多いウイルスです。保育園や幼稚園、学校、介護施設など、人が集団で集まる場所で感染が拡大しやすく、これから季節は細心の注意が必要となります。おもな症状は、吐き気や嘔吐、下痢。感染してから発病するまで、また症状がある期間は短期間なので、体力のある健康な人であれば感染してもあまり心配はありませんが、抵抗力の弱い子どもや高齢者は感染しやすく、体力が低下している人では、重症になることもあるので注意しましょう。食中毒は飲食店だけでなく、家庭からも発生しています。細菌やウイルスは、私たちの身边にあっても目には見えません。意識して予防していくことが大切です。

食中毒を防ぐには、原因となる微生物を「つけない」「増やさない」「やっつける」が3原則。予防対策としては、まず手洗いです。調理や食事の前、トイレの後や帰宅時など、石けんをつけて流水でよく洗いましょう。ノロウイルスは細菌より小さく、簡単な手洗いでは爪や指先、手のしわなどに残ってしまうことがあります。丁寧に洗い流しましょう。そして、特に小さい子どもや高齢者のいる家庭では、肉や魚、貝類の料理は、中まで十分に加熱調理することをお忘れなく。腸管出血性大腸菌は75℃、1分間以上の加熱で死滅します。ノロウイルスは85℃以上、1分間以上が目安です。日常生活では食品を購入するときから衛生面に配慮することが大事です。食中毒を予防するポイントを知って、安全で健康な生活を送りましょう。

【オムロンヘルスケアHPより抜粋】

こんげつの
イチオシ！

素敵な冬の夜を演出！

冬花火&イルミネーション特集

冬といえば、寒くてなかなか外に出るのがおっくうになりますよね・・・。

しかし、あえて外に出て素敵なお冬の夜を楽しんでみませんか！？

ということで、今月は冬の花火とイルミネーションのスポットを特集します！！

下呂温泉(岐阜県下呂市)

12月の毎週土曜に「下呂温泉花火ミュージカル冬公演」と称して、花火が上がります！また、24日はクリスマス特別公演ということで、仕掛け花火10000発、打上花火1000発が上がります！！

【開催場所】下呂温泉内 下呂大橋そば幸田河川広場

【開催期間】

2011年12月 3日（土）

10日（土）、17日（土）

24日（土）（特別公演）

【開催時間】

20:00～20:15



（24日（土）は20:30まで）

【お問合せ先】

下呂市観光商工部 観光課 電話：0576-24-2222

138タワーパーク(愛知県一宮市)

園内全体を約50万球のイルミネーションで装飾し、非日常的な夜を演出します。

【開催場所】愛知県一宮市光明寺字浦崎21-3

【アクセス】

東海北陸道

木曽川ICから約10分

【開催期間】

2011年11月19日（土）

～ 12月25日（日）

【開催時間】

17:00～20:50（土・日・祝日と12月19日～12月22日

は17:00～21:50）

【お問合せ先】

138タワーパーク 0586-51-7105



「我が家のごだわりpart2」

●和室…リビングから1段上げて、上げた分を引き出し式の収納にしました。台所、リビング、和室と間仕切りのない1つの空間にはしたけど、和室もアピールしたかったので。扉的なものを作ると空間が狭まるので、和室の入口を補強してもらい、用途に合わせて和室を閉められるよう大きなロールカーテンを付けられるようにしてもらいました。上でカーテンをまとめるので狭く感じないし、イメージに合わせて色を決めたので閉めても雰囲気が変わって見えイイ感じです。ママ友来訪時には段差を椅子代わりにしたり、赤ちゃんから幼稚園児まで昇り降りやジャンプしたりと人気があり、なかなか好評です。

●玄関内扉…シンエイさんおススメの格子扉にしました。話には聞いていたけど、実際住み始めるまでは半信半疑だった室温の変化も特になく、快適に過ごせています。ただ、うちに初めて来訪した人は、格子で室温の変化が気になるのでは?と必ず質問されますが、冬でも大丈夫と答えています。

●台所のカップボード…棚で埋め尽くさず、中央にレンジ等置けるスペースを作りました。スペース下にボードを渡し、その下もスペースを設け、ゴミ箱を設置しました。空間・ボード・空間にすると荷重がかかるので、メーカーから難を伝えられましたが、シンエイさんと相談して話を通してもらいました。中央のスペースに採光窓をつけ、明るさも確保できて気に入っています。

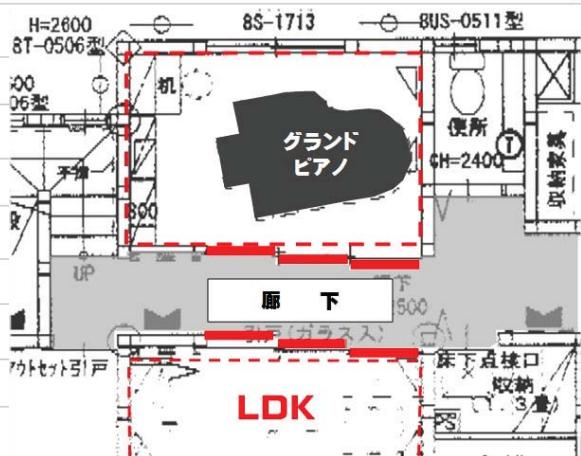
今回の「ごだわりpart2」も、私たちの希望や無理を幾度となく相談の上でかなえてくれたシンエイさんに感謝です!!

なっちゃんのひとりごと

よくぞ我慢しました!

さて、何を我慢したのかよくわからない方に説明したい。下図にあるように我が家では、ピアノ室とLDKの間に廊下がある。そしてピアノ室に3枚、LDKに3枚で計6枚の戸があり、この戸を開けると小さなコンサートホール、閉めるとピアノ室がレッスン室になるのである。グランドピアノなので、レッスン室だけでは勿体ないという事で、間取りを工夫して頂いたわけであるが、6枚の戸なので音がLDKに響いてしまう。それでも主人は1度も文句を言わず、1年半もの間、私の下手なピアノの音を我慢した。エライものである。

肝心のコンサートはどうか。我が家ではたった2回開催されただけである。友達とのコンサートは必ず1年に1回はあるのだが、我が家は遠いからと敬遠されてしまった。コンサートにはぴったりのFPの家なのに、真価が發揮されていない。残念である。ともあれ、これからもピアノを弾き続けるので、ご主人さまよろしく。シンエイ工営さんは、小さなコンサートホールにもなり、防音のレッスン室にもなるそんな家をお願いしたい。



現場レポート

→ 古知野の家



家は人が暮らす大切な器だから一棟一棟測定してから引き渡します。



どうしてそこまでするのか?

暑い夏や寒い冬でも快適に過ごすためには、優れた断熱性、気密性、そして計画的な換気が必要です。断熱性や気密性は、外気のシャットアウトや室内の熱や冷気を外に逃がさないため、そして結露の防止や熱損失を少なくするために必要です。また計画換気は、家具、建材、人体から発生する化学物質、ダニ、カビ等からの汚染物、水蒸気を除去し、新鮮な外気を供給するために必要です。

こうして温度差が無く空気環境が良い家が出来れば生活が変わってきます。年間の交通事故による死者の倍の数の死亡原因ともいわれるヒートショックの防止にもなります。そして、コタツ、ファンヒーター、ホットカーペットも要りません。厚着することなくTシャツ1枚の生活です。寒くてためらいがちになっていたお風呂やトイレも寒さを気にせず行けるようになります。また、室内間の温度のバリアが無くなることで、足元のバリアをなくすことができ、収納スペースに余裕が出来ます。

こうした快適な生活のために必要となる高度な断熱性、気密性そして計画換気の性能は、一棟一棟形も大きさも違い、同じ家がない中でどう証明するのでしょうか?それが数値です。言葉ではどんな事でも言えます。数値は正直です。嘘はつきません。責任を持って造り、責任を持って引き渡す。それが私の使命だと考えているからです。

見て!触れて!!工場見学会 → 12月の開催はありません

・FPの家って? ・断熱性は? ・耐久性は? ・光熱費は?

・気密性は? ・気密は良いけど換気はどうするの?

→ その答えは工場見学会で見つけてください!!

会場はFP岐阜工場(関ヶ原)です。送迎も可能です。ぜひご参加ください!!

お問い合わせは「シンエイ工営」まで! TEL 0568-68-1760

11月

26
SAT

27
SUN

10 : 00

17 : 00



0 P E N H 0 U S E

古くからの商店街にマッチした町屋風の家。
手の温もりが感じられる無垢材や塗り壁など、
経年変化が楽しめる素敵な家です。

自由設計

通り土間、塗り壁、風情ある中庭など、
注文住宅にしかできない自由設計で
町屋風の素敵な居住空間を演出しています。

換気システム

24時間換気システムで常に新鮮な空気を
取り込み循環させているため、湿気が
溜まりにくく快適な環境を維持します。

気持ちが良い家というのは、心地良い空間があり
落ち着いた感覚だと思います。南北に細長い敷地の
ため、陽差しを取り入れるのに既設の庭を利用したり、
中庭を設け、借景も利用した、職人の技術を束ねた
温もりのあるいい家ができました。

このお宅は、長期優良住宅促進事業の対象と
なっており、120万円の補助金を受けています。

※ お子様、乳幼児のご入場はご遠慮下さい。

長期優良住宅 完成見学会

本当の高断熱・高気密

硬質ウレタンパネルと徹底した気密施工
により驚異の高気密・高断熱を実現。
1棟ごとにC値、Q値を測定し、断熱性能
と気密性能を確認してお引渡しします！

細部まで行き届いた機能性

遮熱ペアガラスによる遮熱性・防音性や
給配水管など、デザイン性だけでなく
きめ細かな機能性もFPの家の特徴です。



シンエイ工営(株)

愛知県犬山市長者町5丁目2

TEL 0568-68-1760

FAX 0568-68-1239

e-mail sk@shinei-fp.co.jp

シンエイ工営

検索

読

書を楽しむ

【 紹介者 今井 啓二 】

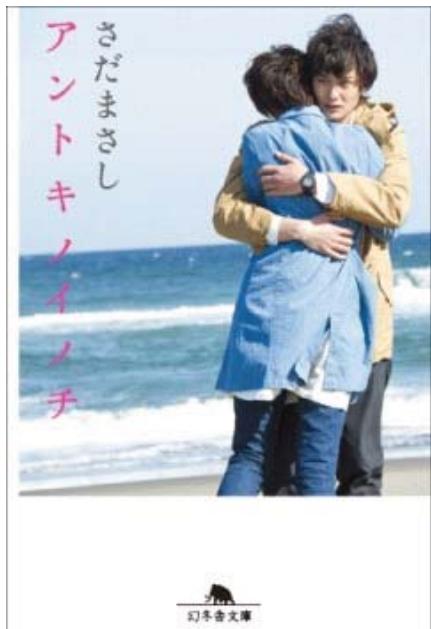
「今回は何を読もうかな？」と書店の中を歩いていると、「アントキノイノチ」というカタカナで書かれた1行のタイトルが妙に気になった。そして、作者の名前がもっと気になった。“さだまさし”って書いてある…。あのおもしろいトークをするオジサンのことだよな～…。小説を書いていたことに驚いたが、映画化もされていて、何より個人的に”さだまさし”が好きなので、さっそく読んでみる事に…。

舞台は、「CO-OPERS（クーパーズ）」という遺品整理会社。主人公はその会社で働くことになった「杏平」という青年。物語は杏平の初仕事であるアパートで孤独死した老人の遺品整理の場面から始まります。

杏平は高校時代、「松井」という同級生がいて、その松井からの悪意により心が壊れてしまい、結局高校を辞めたという過去があった。みんなからも慕われ、いわゆる”優等生”の松井の裏側を知ってしまい、それをきっかけに松井に対して、純粋に殺意を覚え、それを実行に移そうとした事もあった。しかし、「CO-OPERS」の人や杏平よりも過酷な過去をもつ同じ年の「ゆきちゃん」との出会い、遺体が搬出されたばかりの壮絶な現場での故人と遺族とをつなぐ物語など、色々な人の人生や命の結末に触れることにより、杏平はやがて心の病氣から解放され、自分の過去と向き合う事が出来るようになっていく。そんなストーリーとなっています。

この「CO-OPERS」という遺品整理会社は、「キーパーズ」という名前で実在します。登場人物である社長、ベテラン社員の佐相さんも実在の人物で、そして死後何カ月も経った遺体を搬出した後の部屋の掃除、遺品の整理、遺族の方への引渡しなど、小説の中に出てくる仕事内容も実際の通りです。遺体の痕跡や死臭が生々しく残る、いわゆる”グロい”現場と、その中で表情を変えず、故人の人生への尊敬、謙虚さを持って働く佐相さんの姿があまりにも対照的で、誇りを持って働くことのカッコよさに心を打たれました。ゆきちゃんと杏平が一緒に自分たちの過去と向き合えるようになっていくところも感動しましたが、一番感動したのは最後の方で、殺されたタクシーの運転手の遺品整理のところでした。ネタバレするのであまり書けませんが、杏平が無意識に涙を流す場面は読んでいる僕もボロ泣きました。

遺体現場という凄惨な場面の中に、人の命、人生に対する尊厳や重み、そして人の温かみを表現するといった”さだまさし”的表現力、そして「アントキノイノチ」というタイトルに込められた人の命の重み。そしてさださんらしいユーモアもこのタイトルには込められています。自信を持っておススメします！ぜひご一読を！！



幻冬舎文庫



築

お客様の思いが私達の思い

それが地域に根差した工務店の役割と考えます。そして、そのための
知恵と労力を惜しまない事、それが私たちシンエイ工営の「信条」です。



お客様の思いを次の世代へ

家とはその快適さを保ちながら次の世代へ受け継がれるもの。

あなたの思いを子や孫へ。そんな家づくりに自信があります。

リ フォーム

シンエイ工営 株式会社

SHINEI

TEL 0568-68-1760

e-mail sk@shinei-fp.co.jp